



▲「今後も学校から町へ元気を発信したい」と話す高野校長（写真左）と丹治教諭

醸 第54回花いっぱいコンクール 芳小が県内最高賞の県知事賞を受賞

第54回花いっぱいコンクールの審査会が10月28日、福島市の福島民友新聞社で開かれ、最高賞の知事賞に醸芳小学校が選ばれました。受賞報告のため、11月25日に、高野孝男校長と飼育栽培委員会の顧問である丹治恵美教諭が役場を訪れました。丹治教諭は「委員会の児童を中心に、全校生みんなで花を育て、3年間かけて徐々に花壇の面積を増やしてきた。夏休み中も花の様子を心配して、水やりをしに来てくれる子もいた。醸芳小の素直な子どもたちの日々の努力が、自然と結果に表れたのだと思う」と笑顔で話しました。

安 伊達崎小学校標語作品表彰式 全な町への思いを17字に託して

交通安全協会伊達崎部会主催による交通安全入選標語の披露式が11月26日、伊達崎小学校で行われました。蓬田隆穂会長ら出席のもと、全校生の中から選ばれた優秀作品10作品の立て看板がお披露目されました。優秀作品に選ばれた児童らは「交通事故のニュースや自分の経験をもとに標語を作った」「運転手も歩行者も、安全に気を付けなければいけないと思う」などと作品に込めた思いを発表しました。

これらの作品は、12月から約1年間、立て看板として伊達崎地区内の道路脇に設置され、地域の皆さんに交通安全を呼びかけます。



▲「標語を見て、さらに交通ルールに気を付けよう」とみんなで意識を高めました



▲「想像より重い…！」約10kgある1億円のレプリカを持ち上げ、重さを体感

税 小学校租税教室 金の大切さを実感

税金の大切さについて理解を深めてもらおうと、伊達崎小学校で12月10日、租税教室が開かれました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生11人に税金の重要性を説明しました。職員が「小学生一人当たり年間約88万円の税金が使われています」と紹介すると、児童は「多くの人が納めてくれた税金で、学校に通い、勉強させてもらっている。もっと日々の授業を大切にしようと思った」「自分たちも大人になったら、しっかり税金を払って、次世代につないでいきたい」などと思いを新たにしました。

成 醸芳幼稚園発表会 長した姿を披露

醸芳幼稚園発表会が12月14日から16日までの3日間、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、年少・年中・年長組に分かれて行われました。

年中組は縄跳びやフラフープ、ダンスなどを交えた劇に挑戦。マスクを付けながらも、堂々と大きな声で、気持ちを込めてセリフを言う姿に、保護者から温かい拍手が送られました。また、ダンスでは、これまでの練習の成果を元気いっぱいに発揮し、保護者にかっこいい姿を見せていました。



▲絵本「ともだちほしいなおおかみくん」をモチーフにした、かわいらしい劇を発表



▲行政連絡員の皆さんに対し、高橋町長自ら今後のまちづくりの指針を語りました

こ 行政連絡員連合会研修会 れからのまちづくりについて学ぶ

桑折町行政連絡員連合会研修会が11月24日、役場で行われ、行政連絡員35人が参加しました。

佐藤久仁夫会長によるあいさつの後、「これからのまちづくりについて」と題して、高橋町長が講話しました。新総合計画「献上桃の郷未来躍動プラン」の概要や福島蚕糸跡地の利活用、西山城関連のイベントなどの内容について、参加者は真剣に耳を傾けていました。

その後、行政連絡員の業務や町内会の運営について、会員同士で意見交換を行い、日ごろ感じている疑問点や問題点の解決に努めました。

町 農業委員会意見書提出 の農業振興のために

町農業委員会が12月17日、町に対して、地域農業振興のため現場からの要望や新規参入促進についての意見をまとめた「農地等利用最適化推進に関する意見書」を高橋町長に直接提出しました。提出後、担い手への支援や遊休農地対策、有害鳥獣対策などの農業が抱えるさまざまな課題について、町長と意見交換を行い、農業経営安定のための収入保険への加入推進や新規就農者への支援策、遊休農地の発生防止などについての意見が出されました。今後も、町と町農業委員会が協力し、農業の発展や課題解決に向けて取り組んでいきます。



▲高橋町長に意見書を手渡す浅尾日出夫会長（写真中央）と佐藤徳雄会長職務代理者



▲「これからも引き続き応援よろしくお願いします」と呼び掛ける佐藤監督（写真左）

敢 町駅伝チーム福島県縦断駅伝受賞報告 闘賞の走りを振り返って

桑折町駅伝チームの佐藤圭監督が福島県縦断駅伝の結果報告と町旗返還のため、12月10日に役場を訪れました。今大会の「総合29位、町の部12位、敢闘賞受賞」という結果に対し、佐藤監督は「選手一人一人が力をつけ、特にふるさと選手が区間上位に食い込んだおかげで、前回より12位も順位を上げることが出来た」と分析しました。

大会が終わっても、選手たちは慢心することなく、練習を再開。佐藤監督は「あと3分縮められれば、町の部入賞も夢じゃない。来年こそ、過去最高の『町の部8位』を目指したい」と意気込みました。

全 激励金贈呈式 国への活躍に期待！

激励金贈呈式が12月14日、役場で行われ、全国大会への出場が決まった、齋藤世奈さん（第40回全国高等学校弓道選抜大会）と佐藤昭次さん（第39回全日本バウンドテニス選手権大会）に会田智康教育長から激励金が手渡されました。会田教育長は「コロナ禍で満身に練習できない中、予選を勝ち進んだ皆さんの努力に敬意を表します。持てる力を十分に発揮してください」と激励し、齋藤さんは「団体戦なので、みんなで力を合わせて実力を発揮したい」、佐藤さんは「4回目の全国大会、楽しみながら頑張りたい」と思いを語りました。



▲「練習の成果を発揮して頑張ります」と意気込む佐藤さん（写真右）と齋藤さん